学校番号	４１６

令和５年度　芸術科（音楽）

教科	芸術	科目	音楽Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	Joy of Music　（教育芸術社）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ

「歌う」「楽器を演奏する」「音楽を作る」「音楽を聴く」の４つの分野を通して学習します。
学習の到達度は授業で配布するワークシートや実技テストで評価します。
音楽の学習は、クラスメートと声を出したり、楽器を演奏するなど実際にやってみて試してこそ価値あるものとなり、そうして感性が豊かになります。
音楽が生涯を通じて、皆さんの心の支えとなり、生きてゆく力になることを、願っています。

２　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:音楽への関心･意欲・態度	ｂ：音楽表現の創意工夫	ｃ：音楽表現の技能	ｄ：鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽を作るかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	観察 ワークシート	観察 ワークシート	演奏の聴取 提出作品	観察 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４．学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				題材の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	ギターアンサンブルを楽しもう	器楽 7人の踊り メキシカン ミッキーマウスマーチ サザエさん	○	○	○		a:アンサンブルに関心をもち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b：メロディの音程、リズム、和音の特徴を知覚し、その働きを感受しながら、表現したい音楽をイメージしてどのように音楽を作るかについて表現意図をもっている。 c：楽譜を読譜し、表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
2学期	グループアンサンブルを楽しもう	自由な選曲 人数による アンサンブル	○	○	○		a:様々な形態のアンサンブルに関心をもち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b：音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、表現したい音楽をイメージしてどのように音楽を作るかについて表現意図をもっている。 c：楽譜を読譜し、表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
3学期	鑑賞をしよう	鑑賞 メンデルスゾーン バイオリン協奏曲 モーツアルト クラリネット協奏	○			○	a:様々な独奏楽器の協奏曲に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d：音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが	観察 ワークシート

		曲 チャイコフスキー バイオリン協奏曲 グリーグ ピアノ協奏曲 シューマン ピアノ協奏曲					生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　　b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　原則として、「歌唱」「器楽」「創作」の分野はａ，ｂ，ｃの３観点で、「鑑賞」の分野はａ，ｄの２観点で評価をする。

※　年間を通じて全ての観点について評価することとなるが、学習内容（題材）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。